

スマートグリーンハウス 人材育成研修

2024年6月18日版

農林水産省「令和6年度スマートグリーンハウス展開推進」
一般社団法人日本施設園芸協会と大阪公立大学植物工場研究センターとの共催

2024年7月～12月

期間中4日間開催、1日3講義＋総合討論

募集要項

開催方法	「来場形式」/「オンライン形式」を組み合わせたハイブリッド形式 ※3日目はオンライン形式のみ
参加費	1日につき10,000円（税込）/1人 来場形式/オンライン形式ともに同一料金です
会場	大阪公立大学中百舌鳥キャンパスC21棟2階（植物工場研究センターB棟）
申込〆切日	各回、開催日の7日前まで
振込期限	各回、開催日の3日前まで
申込方法	右のQRコードか下のURLより 大阪公立大学植物工場研究センターホームページへアクセスし、 お申込みください。 URL： https://www.omu.ac.jp/orp/plant-factory/

申込は1日単位



※ PFCコンソーシアム優待がご利用できます。詳細は上記お申し込みサイトをご参照ください。

講師紹介

全体的に、植物工場に関連する広範な分野について、専門的な情報の他に、生産性や効率の向上を目指すための実践的な知見を提供していただきます。植物工場に興味のある方ははじめ、生産者や管理者など、専門家の方々にとっても非常に有益な研修となっています。

7月31日（水）

ハイブリッド形式

植物工場・スマート農業の 現状と課題

1 施設園芸・植物工場の現状と課題



東出 忠桐

農研機構
野菜花き研究部門 所長

我が国の園芸施設の面積は減少し、38,000 ha（2022）を切ったところであるが、高度な環境制御を備えた施設面積は増加している。今後、植物工場の役割はますます重要となると見込まれるので、現状と課題について考える。

2 スマート農業技術導入による 経営改善と経営対応



田口 光弘

農研機構
みどり戦略・スマート農業推進室 兼務
農業経営戦略部営農支援ユニット
上級研究員

本講義では、農林水産省HPで公開しているスマート農業実証プロジェクトの経営分析について説明するとともに、その経営分析より明らかになったスマート農業技術導入による経営改善の内容についてお話しします。

3 植物工場産野菜の流通と販売



阪下 利久

オイシックス・ラ・大地株式会社
戦略調達リーダー

植物工場産の野菜はどういったニーズに応えられるのか、流通実需者の立場で具体的な販売事例を解説する。

総合討論

討論者：当日講師

コーディネーター：北宅 善昭

（大阪公立大学植物工場研究センター長）

お申し込みはこちら

<https://www.omu.ac.jp/orp/plant-factory/info/news/entry-53678.html>



8月30日（金）

ハイブリッド形式

植物工場における 環境計測・制御

1 植物工場等施設栽培における 環境制御とICT利用技術



安場 健一郎

岡山大学学術研究院
環境生命自然科学学域
山陽圏フィールド科学センター
センター長

植物工場は環境制御を駆使して周年生産を行うことを目的としているため、多数の環境制御機器を導入し矛盾なく制御する必要があり、その概要を解説する。また、近年トレンドのICT利用についても解説する。

2 植物工場における環境応答の評価



渋谷 俊夫

大阪公立大学大学院
農学研究科 教授

植物工場においてより適切な環境制御を行うためには、植物の環境応答について正しく理解することが重要です。本セミナーでは、植物の環境応答の評価方法やデータの解釈について実例を交えながら解説します。

3 植物工場における計画生産を 可能とする生育・環境制御



安 東 赫

農研機構 野菜花き研究部門
施設生産システム研究領域
施設野菜花き生育制御グループ
グループ長

施設生産では、栽培環境と生育を紐づけし、生産量を計画的にコントロールすることが極めて重要です。本講義では、物質生産に基づき、計画生産を可能とする生育制御や環境制御について解説します。

総合討論

討論者：当日講師

コーディネーター：北宅 善昭

（大阪公立大学植物工場研究センター長）

お申し込みはこちら

<https://www.omu.ac.jp/orp/plant-factory/info/news/entry-54747.html>



1 10:45-12:00

2 13:00-14:15

3 14:25-15:40

総合討論

15:55-16:25



10月16日 (水)

オンライン形式

世界から見た植物工場

準備中です。
しばらくお待ちください。

2 世界の植物工場—韓国の研究・開発事例



全 昶厚

韓国 国立ソウル大学
園芸生命工学専攻 教授

我が国の園芸施設の面積は減少し、38,000 ha (2022) を切ったところであるが、高度な環境制御を備えた施設面積は増加している。今後、植物工場の役割はますます重要となると見込まれるので、現状と課題について考える。

準備中です。
しばらくお待ちください。

総合討論

討論者：当日講師

コーディネーター：北宅 善昭

(大阪公立大学植物工場研究センター長)

申込案内準備中

12月10日 (火)

ハイブリッド形式

みどり戦略・植物工場・ スマート農業の未来

1 みどりの食料システム戦略の実現に 向けた施設園芸・植物工場の役割



清水 治弥

農林水産省 大臣官房
みどりの食料システム
戦略グループ 調整官

生産力向上と持続性を両立した食料システムの構築に向け、①施設園芸・植物工場に求められる取組、②法律面、予算面、税制面等の支援策、③食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた新たな施策の方向等をご紹介します。

2 みどり戦略から考える 植物工場・スマート農業の未来



中野 明正

千葉大学大学院
園芸学研究院 教授

食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を社会実装していくために、植物工場やスマート農業が果たすべき役割、その未来について、皆さんと考えます。

3 スマート施設園芸生産の課題と展望



星 岳彦

近畿大学
生物理工学部 教授

基幹的農業従事者が今後20年間で1/4に減少し、食料・農業・農村基本法の対応改正論議で、スマート農業による課題解決が期待されている。本状況下での施設園芸生産業に関する研究・開発の課題・展望を論ずる。

総合討論

討論者：当日講師

コーディネーター：北宅 善昭

(大阪公立大学植物工場研究センター長)

申込案内準備中

セミナーお申込みの流れ

大阪公立大学植物工場研究センター（PFC）で開催するセミナーの一般的な受講の流れです。
お申込み前に必ずご確認ください。

- お申込み**
1. PFCのホームページのセミナーの案内ページ内「申込フォーム」ボタンからアクセスし、必要事項をご記入の上、送信してください。
 2. 受付完了の自動返信メールが届きます。
※自動返信メールが届かない場合はPFC事務局へお問い合わせください。

- お振込み**
3. 各セミナーの申込・振込期限までに指定の口座へ参加費をお振込みください。
参加費は各セミナーの案内リーフレットまたはHPでご確認ください。

**振込先口座： 三井住友銀行 大阪公務部 普通預金 213932
「公立大学法人大阪（コウリツダイガクホウジンオオサカ）」**

※振込依頼人の氏名は申込者と同一にし、振込依頼人の氏名の前に開催日の数字を4桁で記入してください。
例) コウダイタロウさんが1月20日開催のセミナーに申込みの場合 「0120 コウダイタロウ」

- ・誠に勝手ながら、振込手数料をご負担いただきますようお願い申し上げます。
- ・金融機関振込時に発行される振込明細書等をもって領収証書の発行に代えさせていただきます。
領収証書の発行はしませんのでご了承ください。
- ・参加費入金後の返金はいたしかねます。

個人情報について： お申込みの際の個人情報は、申込み後の事務連絡、統計資料等の作成およびセミナーのご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用はいたしません。

- 受講案内**
4. 開講日の3日前～前日までに申込フォームへ記載されたメールアドレス宛に受講の案内をお送りします。

来場形式の場合

日程と来場の際の注意事項などを送ります。

オンライン形式の場合

日程とオンラインの詳細（ZoomのID・PW等）を送ります。

キャンセルについて： お申込みの後に受講できなくなった場合は、PFC事務局へ必ずご連絡ください。
なお、参加費をお振込み後の返金はいたしかねます。

- 当日**
5. お申込時に選択した参加方法、もしくは各講座で指定された方法でご参加ください。

来場形式の場合

各講座で指定された会場へ直接お越しください。

オンライン形式の場合

メールに記載のリンク等からオンライン講座にご参加ください。

カリキュラムについて： 本年度のカリキュラムは、一部、オンライン形式の講義のみへの変更または中止となる場合があります。ご了承ください。

PFC
R&D Center for Plant Factories, OMU

